

図1は気象の観測をするための測定器具を入れておく箱を表しています。これについて、次の問いに答えなさい。

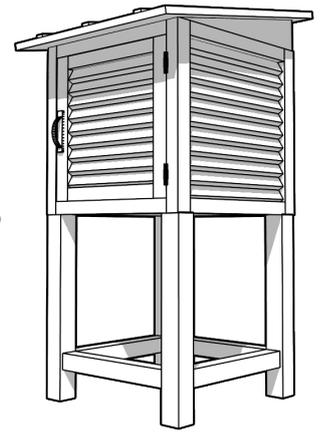


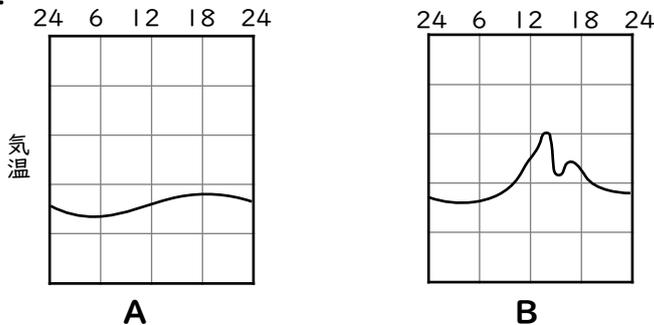
図1

- (1) 図1の名前を答えなさい。
- (2) 下の①～④は、図1の箱のつくりや置く場所の特徴について述べたものです。これらと関係の深い事柄や理由として、最もあてはまるものを下のア～カから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 外側は白いペンキで塗られている。
  - ② 戸はよろい戸になっていて、壁にはすきまがある。
  - ③ とびらは北向きになっている
  - ④ しばふの上に置かれている
- ア 太陽の光が差し込まないようにしている。  
 イ 熱を伝えにくくしている。  
 ウ まわりから太陽の熱が反射してくるのを防いでいる。  
 エ 太陽の熱の吸収を防いでいる。  
 オ 箱の中が乾燥するのを防いでいる。  
 カ 風通しをよくしている。

- (3) 図2は、図1の箱の中に入っている温度計によって記録されたものです。これを記録した温度計は、何という温度計か記号で答えなさい。  
 ア 最高温度計    イ 乾湿球温度計    ウ 自記温度計    エ 鉄管地球温度計

図2



- (4) 図2のA、Bが記録された日の天気として、最もあてはまるものを選び記号で答えなさい。
- ア 朝から厚い雲に覆われ、一日中雨が降っていた。
  - イ 午前中は晴れていたが、午後に雷が鳴って強い雨が降った。
  - ウ 一日中快晴だった。
  - エ 午前中は雨が降っていたが、午後から雪に変わった。

(1)		(2) ①
(2) ②	(2) ③	(2) ④
(3)	(4) ①	(4) ②

解答

- (1) 図は百葉箱です。気象庁の観測業務では使用は廃止されていて、学校教育の現場でのみ使用されています。
- (2) 百葉箱は、太陽熱の吸収を防ぐために外側だけでなく内側も白いペンキで塗られ、太陽熱の反射を防ぐしばふの上に設置されています。戸や壁はよろい戸・よろいかべで風通しをよくして、日光が差し込まないようにとびらは北向きになっています。
- (3) 百葉箱の中には自記温度計が納められています。
- (4) 曇りや雨の日はAのグラフのように、1日の気温変化が小さくなります。  
Bでは午前中に気温が上昇し、午後に急低下していることから、寒冷前線が通過して雷を伴う強い雨を降らせたと考えられます。

(1) <b>百葉箱</b>		(2) ① <b>エ</b>
(2) ② <b>カ</b>	(2) ③ <b>ア</b>	(2) ④ <b>ウ</b>
(3) <b>ウ</b>	(4) A <b>ア</b>	(4) BD <b>イ</b>